

# 岡山県支部会報

発行／(社) 中小企業診断協会  
岡山県支部  
2009年7月 第24号



## 就任ご挨拶



支部長 額田 信一

<はじめに>

昨今の厳しい経営環境の中、中小企業から診断士に寄せられる期待には大きなものがあり、支部会員の皆様はお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

去る5月23日に行われた支部総会で支部長に選任されました額田です。前支部長の多田先生に比べて知識・経験も少なく、若輩ものではあります。精一杯務めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<中小企業は日本経済の根幹>

中小企業は、日本の企業数の99.7%、従業員数の69.4%を占める、日本経済の根幹をなす存在です。中小企業の繁栄なくしては、日本経済の復活はありません。

中小企業に対しては、「大企業になれなかった存在」や「大企業を目指して挑戦している存在」という見方もできます。しかし、私は、中小企業は「中小企業であること自体」にも価値があると思っています。

<中小企業の三つの使命>

なぜなら、中小企業には大企業にできない、中小企業ならではの三つの使命があるからです。

それは、①地域の産業を興し雇用を創出する、②社員教育を通じて地域の人材育成、社会人の生涯教育を行う、③地域の社会的つながりを担いコミュニティ機能を維持する、の三点です。

<産業インフラとしての診断士>

このような中小企業の経営を支援する

診断士の存在は、地域社会にとって無くてはならないものでしょう。

身近に企業経営のことについて相談できる相手が居るということは、道路や電力、工業用水などと同様に、いわば地域産業のインフラストラクチャーであるとも言えます。

<高まる診断士への期待>

百年に一度と言われる大不況の中、我々診断士の役割は益々重要になっていると思います。厳しい案件としては、企業再生や経営改善などに診断士の出番が増え、認知度も高まり、それと共に社会からの期待は大きく、責任も重くなっています。

また、厳しい案件だけでなく、新しいビジネスを創出するお手伝いや、企業間あるいは産学官連携の橋渡し役など、前向きな役割への期待も高まっています。

<支部事業へのご協力をお願い>

そのような社会からの期待に応えるためにも、今年度は、「公益目的事業<sup>1</sup>」がいくつも予定されています。

しかし、何分、新米で力不足の支部長です。理事の皆様をはじめ会員の皆様のご協力をいただかないと、各事業の実施はできません。

ぜひ、皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願いいたします。

<sup>1</sup> 仲間内である診断士のためにする事業を「共益事業」と言い、広く社会全体のためにする事業を「公益目的事業」と言います。

## 支部通常総会開催

日時：平成21年5月23日（土）15:00～17:00

場所：ピュアリティまきび 岡山市北区下石井2-6-41

多田土喜夫支部長挨拶の後、議長となり、会員総数129名に対し、本日出席者は34名、委任状55名、出席総数89名であり総会の成立を宣言する。続いて議事録署名人として栗原茂氏、川路隆志氏を推薦し承認を受ける。

1号議案（20年度事業報告及び決算報告）の説明を専務理事・額田信一氏が行い、続いて、同議案に関し監査報告を監事・乗金氏に代わり安東官氏が行った。同議案に関し質疑応答ののち、全員拍手を以って原案通り承認された。

2号議案（支部規約に関する件）の説明を専務理事・額田信一氏が行い、同議案に関し異議がなく、全員拍手を以って原案通り承認された。

3号議案（理事選任に関する件）の説明を専務理事・額田信一氏が行い、同議案に関し異議がなく、全員拍手を以って原案通り承認された。

4号議案（21年度事業計画及び予算案）についての説明を専務理事・額田信一氏が行なった。同議案に関し質疑応答ののち、全員拍手を以って原案通り承認された。

以上をもって決議事項は全て承認された事を宣言して、議長は降壇し、総会は全て終了した。

続いて、退任理事、新任理事のあいさつおよび新入会員、入会予定者の紹介がなされた。

最後に司会の和田光典理事より、閉会の案内があり散会した。

<総会>



## 新役員のご紹介

支部長：額田信一

副支部長：今井岸夫

中原富二雄

専務理事：山田哲男

常任理事：黒江正行

児玉健治

理事：

多田土喜夫

生田隆司

和田光典

木野内俊典

乗金 勲

氏家 宏

松田真司

川路隆志

黒田俊彦

安原朋彦

監 事：

馬越晃一 浮田健治

以上18名

よろしくお願いたします。

新任役付理事、新任理事になられた方より一言ずつコメントを頂きました。

今回、副支部長を仰せつかりました  
今井岸夫です。  
額田支部長の補佐とともに、会員の皆  
様の環境整備に努める所存です。  
どうかよろしく願いいたします。

額田支部長を補佐して支部を盛り上げる  
ようにと、このたび副支部長という役を  
いただきました中原富二雄です。  
会員の皆様が「岡山県支部に入っていて  
良かったと思える」支部になるように、  
いろいろアイデアを出していきたいと思  
いますのでよろしくお願い致します。

診断協会のあり方が大きく変わろうと  
しています。  
岡山県支部の事務方として、会員の  
方々をしっかりサポートさせてもらい  
たいと思います。 山田哲男

常任理事となりました黒江正行です。  
微力ですが、皆様のお役に立てるよう  
努めてまいります。  
よろしくお願い致します。

常任理事となりました児玉健治です。  
会員の皆様、特に企業内診断士の  
方々のご支援、課題解決に注力してま  
いります。  
よろしくお願い致します。

新任理事の川路です。  
診断士フォーラム、診断士実務補修を  
主に担当します。  
今後ともご協力をよろしくお願いしま  
す。

新任理事の木野内です。  
理論更新研修、支部論文集、そして児  
玉理事の弟子として海外研修を担当し  
ます。  
宜しくお願い致します。

新任理事の黒田です  
支部研修、診断士試験実務補習を主に担  
当させていただきます  
行き届かないことが多いと思いますが、  
頑張りますよろしくお願い致します

この度、理事に就任致しました乗金で  
す。岡山県支部の発展の為、全力を尽  
くす所存であります。今後とも会員皆  
様のご協力ご鞭撻を賜りますようお願い  
申し上げます。

このたび新しく理事を拝命しました安  
原です。  
登録更新研修と支部論文集を担当しま  
す。  
よろしくお願い致します。

## フォーラム活動

このフォーラムは、会員の皆様方にプロコンサルタント、企業内コンサルタントの研鑽の場、そして、人脈づくりの場として利用していただくためのものです。多くの方の参加をお待ちしております。

原則として月1回、第2日曜日に開催し、経営面のみならず、幅広い分野の講師をお願いして充実いたします。

### 第1回フォーラム

開催日 4月12日

テーマ 「町民参加のまちづくり」

講師 都窪郡早島町 町長  
佐藤 友彦 氏

### 第2回フォーラム

開催日 6月14日

テーマ 平成21年度の中小企業施策と中国経済産業局の取り組み

講師 中国経済産業局 中小企業課  
課長 江口 知之 氏

### 第3回フォーラム

開催日 7月12日(日)

テーマ 「税務に関する新しい動きについて～法人税改定の内容と取引実績の無い会社の株価評価」

講師 税理士 福島 理浩 氏  
(元中国国税局職員)

### ☆今後の開催予定日☆

### 第4回フォーラム

開催日 8月9日

テーマ 「産業興しを通じて地域興しを～地域に産業を興すことが地域を元気にする一つの方法だ」

講師 株式会社オーティス  
代表取締役社長 佐山 修一 氏

### 第5回フォーラム

開催日 10月11日

テーマ 「未定」 講師 未定

### 第6回フォーラム

開催日 11月8日

テーマ 「未定」 講師 未定

### 第7回フォーラム

開催日 12月13日

テーマ 「未定」 講師 「未定」

### 第8回フォーラム

開催日 1月17日(新年会として)

### 第9回フォーラム

開催日 2月14日

テーマ 「未定」 講師 「未定」

### 第10回フォーラム

開催日 3月14日

テーマ 「未定」 講師 「未定」

発表テーマがある方はぜひ、支部の方へ連絡して下さい。



4月フォーラム風景



6月フォーラム風景

## H21年実務補習を終えて

会員 戸板一平

1月29日から3月9日まで、約6週間岡山県支部において実務補習を受講しました。この期間インストラクターの先生をはじめ、岡山県支部の方々には私共の為に環境整備にご尽力いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

### ・メンバー構成

今回は初めて岡山県支部で実務補習を行うということもあり、岡山近隣に居住している参加者を集めた結果、我々第3班は地場金融機関勤務者ばかり4名という偏った編成となってしまった。

従って良くも悪くも同じ意見に纏まりやすく、インストラクターからの指摘により視野の狭さに気付かされることが多かった。

### ・診断スケジュール

(事前準備)

- 1日目 経営者へのヒアリング、現場視察
  - 2日目 SWOT分析、診断の方向性の確認、役割分担の決定  
(自宅での作業約1週間)
  - 3日目 各自作業進捗状況、方向性のまとめ
  - 4日目 仕上げ作業、製本
  - 5日目 報告会
- 上記を1クールとして、計3回診断を行う。

### ・診断企業A

業種：和菓子小売

診断テーマ：お客様に商品のすばらしさを伝える仕組み作り

A社は地元商店街に立地する老舗の和菓子屋であった。経営者の和菓子に対するこだわりが強く多くの受賞商品を持ち、商品には自信を持っていた。

顧客アンケートの結果から導き出された顧客分析やSWOT分析から、「地産地消」・「食に対する安全志向」といった事業

機会に対し、強みである「こだわりの高品質」「和菓子屋としての歴史」を活用して商品の素晴らしさを顧客に伝える仕組み作りや店頭の改善提案を行った。

### ・診断企業B

業種：配電盤製造業

診断テーマ：受注減少期を勝ち抜く強固な経営体制の構築

次なる収益源確保にむけた新分野への進出

B社は一貫生産体制ができる設備を保有しているという強みを持ち、専門分野や受注先企業によって棲み分けができている業界に身をおいていることから、業況も堅調に推移していたが、リーマンショック以降の景気低迷によりかつてないほどの受注減少が近い将来見込まれる状況にあった。

従って受注減少期にも黒字確保できるためのシミュレーションを行いコスト削減提案を行うとともに、資金力を活用して新分野への進出を提言した。

### ・診断企業C

業種：土木・舗装工事業

診断テーマ：本業適正化

新事業強化

地域ブランド活用

C社は地元名士が経営する確固たる基盤を持った地場土木工事業者であり、業界環境が厳しい中、地域的に競合が少ないことから今までは安定した業績を残してきた。

しかしながら業界全体のパイが大幅に減少していくことは明らかであり、近年は赤字体質に転落。新たな収益源の確保と本業の適正化が喫緊の課題となっていた。

すでに地域ブランドを活用した新事業を立ち上げていたこともあり、当社の立地する地域性を活用した農商工連携を中心に新事業強化と新たな新規事業の提案、また本業適正化のための施策提案を行っ

た。

#### ・反省点・感想等

前述したとおり従来中四国地域の実務補習は広島県支部でのみ行っていたが、今回初めて岡山県支部で1グループ担当していただいた。

岡山県支部のご厚意により、他のグループ（広島県支部担当）に比べ作業環境は良好で設備関係も整っていた。また、初の岡山県支部開催ということもありインストラクターの方々にも熱心に指導していただいた。

上述のスケジュールを見ていただければ分かるが、自宅での作業も多くスケジュール的にはかなりハードであった。また、今回は金融機関出身者ばかりというメンバー構成で、やや知識の幅が偏っていたかもしれないと感じた。

しかしながら金融機関出身者からみた実務補習の問題点についてはメンバー間で共通認識が持てたと思う。以下にそれをまとめてみたので、今後の参考としていただければありがたい。

#### ①事前資料の少なさ

スケジュールを見ていただければ分かるように、診断企業に直接接見できるのは1日目だけである。1日目のヒアリング及び資料依頼によって診断の中身の濃さが大幅に違ってくる。事前資料として渡されるのはほぼ3期分の決算書のみであり、しかも企業名は伏されているためHP等で事業内容も確認できにくい。通常診断で必要と思われる資料やメンバーが提出してほしい資料については事前に提出を依頼しておいた方がよい。

#### ②診断企業の募集

後から聞いたのだが、診断企業を探すのにも大変な苦勞をおかけしたらしい。企業

側からみれば、筆記試験に合格しているとはいえ、どこの誰だか分からない者（企業側には名前以外の素性は明かさないうことになっている）に企業秘密や問題点を教えるのは気が進まないはずだ。しかしながら企業側の全面的な協力がなければ報告書の充実度も上がらないのも事実である。

この点は、もっと地元金融機関に協力を求めてはどうかと考えている。金融機関側の現場では、客観的な目で企業を掘り下げて見てほしいというニーズは多い。一方企業側も金融機関側から中期計画等の資料提出を求められてもなかなか自力で作成するのは困難なのが実情である。実務補習では診断料も無料であるし、金融機関からの紹介であれば企業側も資料提出に抵抗感はないのではないかと思う（ただし金融機関側からの診断内容に対する圧力等がかからないよう工夫が必要だが）。

#### ③設備関連の準備

この点では岡山県支部で受講できた我々はとても恵まれていた。少ない作業時間の中で効率的に時間を使うには、コピー機、PC関連機器、文房具等の準備が欠かせない。特に製本作業にはかなりの時間を費やしてしまう。報告内容にはほとんどプラスにならない時間である。広島県支部で受講したグループはこの作業にかなりの時間と費用を取られたらしい。今回の岡山県支部のように支部の機器を使用させてもらうなどして効率化を進めるべきだと思う。

以上、最後に開催側にはいろいろと困難な面もあると思うが、今後岡山県支部での開催が続いていくことを祈って受講報告とさせていただきます。

（実務補習生：横川和直、梅本淳文、梶岡正樹、戸板一平）



## 支部研究会活動

### 🌸 地域活性化研究会 🌸

地域活性化研究会の活動予定

担当会員 松本直也

今年度、本会は「善の経営 ～正しい経営は滅びない～」をテーマに、地域を活性化している・地域に貢献している企業の研究、および、このような企業を多く輩出するための支援ツールの開発を行います。活動は、月1回の定例会によるメンバー間の意見交換・共同作業と、先進的企業への視察（10月頃）を行う予定としております。

月	活動内容
8月	・定例会
9月	・定例会
10月	・視察研修（山陰方面を予定）
11月	・定例会
12月	・定例会と忘年会

※平成22年1月以降については未定

地域活性化研究会では、一緒に活動していただける方を募集しています。毎月活動に参加できる方で、地域活性化にご興味ある方は、お問い合わせください。

### 🌸 I S O研究会 🌸

担当会員 増田 泰三

I S O研の活動は、今年は「中小企業のためのI S O 2 2 0 0 0入門」をタイトルに報告書の作成を目指して活動しています。

原稿の分担としては次のように決めて、今年すでに2回の勉強会を開催しました。

- ・第1章「I S O 2 2 0 0 0について」 : 藤原
- ・第2章「規格要求事項の解説」
  - 1～4章「食品安全マネジメントシステム」 : 今井
  - 5章「経営者の責任」 : 国米
  - 6章「資源の運用管理」 : 栗田
  - 7章「安全な製品の計画及び実現」 : 増田
  - 8章「食品安全マネジメントシステムの妥当性確認、検証及び改善」 : 布野
- ・第3章「システム構築の手順」 : 森安
- ・第4章「認証取得の実際」 : 柳井
- ・第5章「認証登録事例」 : 増田

今後の予定としては次のように計画しています。

- ・8月29日（土）10時～ アルマ会議室 第3回勉強会（7～8章）
- ・10月？日 アルマ会議室 第4回勉強会（原稿確認）
- ・11月27日（金）13時～工場見学（倉敷青果）→合宿研修
- ・11月28日（土）午前中：最終原稿の確認
- ・12月に製本
- ・2～3月に報告会

### 🌸 福祉ビジネス研究会 🌸

担当理事 川路 隆志

今年度は、勉強会等の開催、行政関係との協働事業等を進めていきます。

## 🌸 循環ビジネス研究会 🌸

担当理事 黒江 正行

今年から視察を再開し、7月には循環ビジネスの先進企業・施設を視察予定です。また、研究会の前向きな仕切り直しも行なおうと思います。

## 🌸 コミュニティ・ビジネス研究会 🌸

担当理事 黒田 俊彦

昨年は、休眠状態でありましたが、本年度は、新たな活動を開始すべく、7月18日に協議することとなっております

## 🌸 海外ビジネス研究会 🌸

担当理事：児玉健治・木野内俊典

海外視察について

今年は海外視察を実施いたします。

行先は韓国・ソウルで、日程は11月1～3日で調整しております。

韓国につきましては、過去にも視察を行い、岡山県内中小企業の販路開拓の観点から、市場としての可能性を追求してまいりましたが、昨年秋以降はウォン安、円高の傾向が定着し、市場環境が激変しています。販売先としての可能性は残しつつ、資材や商品の調達先としての韓国の有効性もあらためて具体的に探っていくことを今回の目的といたします。

日程を含めましての詳細が決定次第、すぐにお知らせいたします。今しばらくお待ちください。



## 会員 投稿記事

### 電気自動車の近未来予測

会員 藤原 敬明

三菱自動車の電気自動車アイミーブの生産が6月から始まった。最初は、電力会社等の法人販売が主になるという。

アイミーブの価格は459万9千円、富士重工の発表したプラグイン・ステラは472



万5千円と意外と高い設定でした。これは上方吸収価格政策を採ったためである。プラズマテレビや液晶テレビも発売当初は、上方吸収価格政策を採っていた。開発当初の試験研究費等を早期に開発する目的である。

1997年にトヨタ自動車が発売したプリウスを公表した時の価格は、215万円からであった。最初から浸透価格政策を採っていたのとは対象的である。最初は赤字になるのを覚悟し、量産効果によるコスト削減とシェアの拡大を狙ったものである。

8月2日の日産自動車の本社の横浜への移転のイベントで、日産の電気自動車が発売されるという。日産の電気自動車は、4ドアハッチバックのファミリーカーだと言われている。ベンチャー企業のベター・プレイスと一緒にいこう電池交換方式、電池のリース方式が、実際にどうなるのか興味がない。

電気自動車の価格に大きな影響を与え



ているのが、リチウムイオン電池の価格である。リチウムイオン電池は、世代ごとに溜める電気の量が増えている。また、かつての半導体の集積に似た面を持っているように見受けられる。

電気自動車の競争が本格化するのには、リチウムイオン電池の価格に低下に目処が付いた時に、自動車メーカーが浸透価格政策を採用してきた時であろう。

2012年にロンドンでオリンピックが開催される。ロンドンオリンピックは、電気自動車のイベントにもなるであろう。2012年頃から、浸透価格政策を仕掛けてくるだろうと予想している。

現在、トヨタ自動車や本田技研は、電気自動車に対して身長である。本田技研は燃料電池車を中心に開発を行なうと発表している。スタック(燃料電池)を電池に換えれば、いつでも電気自動車になると考えている。

現在、日本とアメリカではトヨタ自動車のプリウスのハイブリッド車がブームとして売れている。しかし、アコードハイブリッドや日産のアルティマハイブリッドは、売れ行きが良いと言える状況にない。アメリカでは特に、採算性が重視される。ハイブリッドによる価格高が、どの程度の

走行距離で見合うかである。

一方、ヨーロッパでは、エコカーはディーゼル車が一般的であり、ハイブリッド車の普及はあまり進んでいない。

アメリカのグリーン・ニューデール政策の補助金で、テスラ等の電気自動車を生産するベンチャー企業が、雨後の筍のように次々と生まれている。多くの企業は淘汰されるか、創業者利益を得て売却されるだろう。

いずれにしても、電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池自動車のいずれかが選ばれるより、地域の道路状況、気候・使用条件によってクルマにも多様化がある方が、多くの自動車メーカーが存在できる。世界同時不況に対する抵抗力になると考えられる。



## 新入会員自己紹介

☆☆ 戸板 一平 氏 (株) 中国銀行 ☆☆

はじめまして。H21年春に岡山県支部で開催された初めての実務補講を受験して診断士になることができました。仕事の関係で県支部の会員の皆様とも何人かは面識があり、今回仲間入りできてうれしく思っています。今後は金融機関と診断士の架け橋となれるような仕事ができればいいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

☆☆ 横川 和直 氏 (株) 中国銀行 ☆☆

はじめまして、横川 和直と申します。昨年の中小企業診断士試験に合格し、今回岡山県支部に入会しました。

現在は中国銀行の金融営業部という部署で、シンジケートローンの組成や資産の流動化など新しい分野のファイナンス商品の開発や推進などを行っています。

業種柄、お客様の問題解決のためのソリューション営業を心掛けており、診断士と通ずるところが多くあります。

支部の皆様、引続きよろしくお願ひ致します。

☆☆ 梅本 淳文 氏 (株)中国銀行 ☆☆

2次試験合格後、岡山県支部で初めて行われた実務補習を経てこのたび入会いたしました梅本淳文と申します。

現在、住まいも勤務先も広島県福山市ですが、勤務先の地元であり、実務補習で多くの方々にお世話になった岡山県支部を離れることはできません。

今後は、中小企業診断士として少しでも地域のお役に立てるよう、更なる研鑽に励む所存ですので、皆様何卒よろしくお願いいたします。

☆☆ 渡辺 浩明 氏 (株)中国銀行 ☆☆

仕事柄、中小企業のオーナー様とお話することが多いのですが、抱えている悩みに明快に答えられる存在になりたいと思っていました。幅広い知識を身につけ、軸のブレない考え方を持つには診断士資格の取得が良いと思い、勉強を始めました。

2次試験に苦戦しましたが、3ヶ月間生産性本部へ研修に行くこととなり、その間勉強時間がある程度確保できたため、無事合格となりました。

現在の仕事では、悩みを持つオーナー様と直接関わる機会が多いのですが、そんな悩みを診断士学習で得た知識を活用し対応していきたいと考えています。

将来は、お客様の期待を上回る価値提供ができる、また、お客様が期待すらしなかった価値提供を行い喜びを与えられる診断士になることです。

仕事上ではなかなか出会えない異業種の方と出会えることを楽しみにしています。

多様なネットワークを持ち、楽しく仕事ができればと思っています。

ご指導の程宜しくお願いいたします。

☆☆ 大原 章道 氏 ☆☆

診断士を取得しようと考えた動機は、40歳を迎えて「今のままの仕事のやり方でいいのか」と思ったのが契機でした。

物流センターを運営する中で、漠然とですが、幅広い視点が欠けているように感じていました。

そんな中、診断士の資格の存在を知り、受験勉強を始めました。受験校の2次試験対策に悪戦苦闘し、自分に合った手法と接することができ昨年合格することができました。仕事柄、顧客に対して業務のあり方や手法を提案する機会がありますが、今後はより一層上流工程を含めた提案を心がけていきたいと思えます。

5月に診断士登録が終わりほっと一息つきたい処ですが、諸先輩の皆様からご指導を頂きながら、一人前の「診断士」になれるよう頑張っ参りたいです。

ですが現状は、今まで知り得なかった世界に戸惑っており、一生懸命もがいています。

そんな新米の私ですが、皆様からご指導を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局だより

1. 平成21年度理論政策更新研修(座学)案内

日時 平成21年9月12日(土)

13時~17時の予定(後、懇親会あり) 場所 コンベンションセンター

(岡山市下石井2-6-41 TEL086-232-0511)

<必須科目①> 「新しい中小企業施策について」

中国経済産業局 中小企業課 課長 江口 知之

<必須科目②> 「中小企業の事業承継」

中小企業診断士 神崎 充

<演習(事例研究)> 「中小企業の事業承継」

中小企業診断士 神崎 充

## 2. 診断実務従事事業の実施案内

担当理事 多田土喜夫

平成21年度の診断実務従事事業を実施します。

なお、この診断実務従事事業は、中小企業診断士更新要件のひとつである「実務従事要件」として、中小企業診断士が実務に従事する要件のポイントに6～7点加算できます。

中小企業診断士が経営診断の実務に従事する合計は5年間で30点です。

- ◆ 受診企業 飛竜 (岡山市北区撫川 941-1)
- ◆ 診断実務日程及び内容

No	日時	場所	内容	備考	担当		
1	8月1日(土)	AM	診断協会 事務所	準備検討会	企業製品紹介資料	多田	
	PM	企業 事務所	企業概要・ヒヤリング	3期決算書	社長、守屋課長		
2	8月9日(日)	AM	企業	製造現場	生産現場調査・ヒヤリング	生産工程	社長、岡崎課長
		PM		事務所	製品開発現場調査・ヒヤリング	製造品目、原価資料	
3	8月22日(土)	AM	販売の現地調査		市場調査 スーパー等での現地調査	岡山県内 (自社製品の展示状況)	別途指示
		PM					
4	8月23日(日)	AM	販売の現地調査		市場調査 スーパー等での現地調査	関西方面 (競合相手の調査)	別途指示
		PM					
5	8月29日(土)	AM	企業	事務所	販売資料調査・ヒヤリング	3期販売実績	榊江本部長
		PM		事務所		営業責任者ヒヤリング	
6	9月5日(土)	AM	岡山北ふれあいセンター	第3研修室	データ解析 検討会		多田
		PM					
7	9月19日(土)	AM	診断協会	事務所	報告書作成 報告会		報告会は全員 (営業員も出席)
		PM	企業	事務所			

- ◆ 申込期間 平成21年7月23日まで(厳守)
- ◆ 申し込み方法 電話申込み TEL: 086-225-4552
- ◆ 参加料
 

本部会員	42,000円(税込み)
支部特別会員	42,000円(税込み)
本部会員以外	63,000円(税込み)
- ◆ 募集定員 8名

## 3. 平成21年度 プロコン育成塾参加者募集

担当副支部長 中原富二雄

- ◆ 目的
  1. 事業家としての基礎的な知識、及び、独立までのアクションプランを作成することにより、独立して経営コンサルタントになり、コンサルティング事業を立ち上げることができるようになること。
  2. 企業内で活躍する場を見つけてコンサルティングノウハウを身につけ、コンサルタントになる道を確認すること。

- ◆ 対象  
企業内診断士、独立してアーリーステージにあるコンサルタント
- ◆ プログラム内容
  1. プロコンサルタントになるために
  2. 自分を知ろう
  3. 商品づくり
  4. 人脈づくり
  5. 営業活動の進め方
  6. コンサルティングの企画
- ◆ 受講料  
50,000円/人(消費税込み)
- ◆ 日程  
9月から11月までの土、日のうち6日間、1日6時間
- ◆ 場所  
岡山市内
- ◆ 締切 7月末日

詳細は未定ですが、昨年度と同様の内容を考えています。  
参加希望者が4名以上になった時点で参加希望者の希望を考慮して詳細を決定します。  
3名以下の場合は開催を中止します。

#### 4. 会員の消息 (H21年6月～)

- 本部会員 入会  
戸板一平 横川和直 渡辺浩明 梅本淳文
- 本部会員 退会  
近藤次夫 氏
- 支部特別会員 入会  
近藤次夫 氏



#### 5. 今後の行事予定

- 8月 フォーラム 8月9日(日)9時30分～12時 ゆうあいセンター
- 9月 理論政策更新研修 9月12日(土)13時～17時 岡山コンベンションセンター
- 9月 しんきんビジネスマッチングに参加予定 9月9日(水) コンベックス岡山
- 10月 フォーラム 10月11日(日)9時30分～12時 ゆうあいセンター
- 10月 香川県支部との合同研修会を予定 日程未定
- 11月 フォーラム 11月8日(日)9時30分～12時 ゆうあいセンター
- 11月 支部研修 11月1日(日)、21日(土)の予定 ゆうあいセンター
- 11月 本部事業 当協会創立55周年記念事業 11月5日(木)東京で開催
- 12月 フォーラム 12月13日(日)9時30分～12時 ゆうあいセンター
- 1月 新年会 平成22年1月17日(日) 時間、場所未定
- 2月 フォーラム 2月14日(日)9時30分～12時 場所未定
- 3月 フォーラム 3月14日(日)9時30分～12時 場所未定

## ＜＜岡山市より緊急保証制度についてのお知らせ＞＞

平成20年10月31日から開始した「緊急保証」は、6月23日から26業種が追加指定され、対象業種が781業種となりました。要件に該当する中小企業者は、金融機関から融資を受ける際に一般の保証とは別枠で、信用保証協会の保証（責任共有制度の対象外）を受けることができます。

利用に当たっては本店所在地の市町村の認定及び岡山県信用保証協会の保証が必要になります。申請に必要な書類等は市町村により異なりますので、詳しくは該当の市町村にお問い合わせ下さい。

### 〔対象となる中小企業者〕

指定業種（781業種）に属する事業を行っており、イ・ロ・ハ・ニのいずれかの要件に該当する中小企業者

- イ. 最近3ヶ月間の平均売上高等が前年同月比で3%以上減少していること
- ロ. 原油等の売上原価に占める割合が20%以上あり、原油等の仕入単価が前年同月比で20%以上上昇しているにもかかわらず、上昇分を価格転嫁できていないこと
- ハ. 最近3ヶ月間（算出困難な場合は直近決算期）の売上総利益率又は営業利益率が前年同期比で3%以上減少していること
- ニ. 新型インフルエンザの影響を受け、最近1ヶ月間の売上高等が前年同月比で3%以上減少し、その後2ヶ月間を含む3ヶ月間の売上高等が前年同期比で3%以上減少することが見込まれること

〔保証限度額〕	無担保保証（原則として無担保）	8,000万円
	普通保証（原則として担保が必要）	2億円
〔保証期間〕	10年以内（うち据置2年以内）	
〔保証料率〕	0.80%以内	
〔融資利率〕	金融機関・自治体制度所定の利率	
〔取扱期間〕	平成22年3月31日まで	

※指定業種等の情報については、中小企業庁のホームページで確認できます

[http://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/sefu\\_net\\_5gou.htm](http://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/sefu_net_5gou.htm)

岡山市産業課中小企業振興室  
Tel (086) 803-1325

## 地域力拠点事業

### 岡山県中央会のサポート体制

#### 1 連携拠点の主な支援内容

岡山県中央会の地域力連携拠点は、地域の中小・小規模企業から相談があれば、すべてに対応することを原則としています。さらに、より専門的な課題解決に対応するために※**専門家を無料で派遣**したり必要に応じて他の支援機関と共同プロジェクト体制で経営課題解決を支援します。※④を参照

#### 2 応援コーディネーターによる課題解決のコーディネート

岡山県中央会の一番の売りである応援コーディネーターのサポート体制は、3名の優秀な人材がサポートしています。相談依頼があればすぐに御社に伺い**経営診断や経営戦略の立案等を行いアドバイス**をするほか、相談企業に対する**支援計画を作成**します。また、課題解決の見直しや実行計画の策定の後も、企業の経営改善、業績向上を実現するまでフォローアップ支援を行います。

#### 3 サポートパートナー(サブ拠点)による相談案件の掘り起こし

岡山県中央会では、会員組合をサポートパートナー(サブ拠点)として相談案件の掘り起こしを行ったり、他の支援機関との連携で案件の発掘を行います。その中で、技術や販売チャネル、経営者の質、人材等の潜在的な経営資源や優位性があるものの、本来の成長軌道に乗り切れていない企業を、重点的に発掘し支援します。

#### 4 専門家の派遣(無料)

中小・小規模企業の経営課題解決に際し、専門性が高い分野に専門家を無料で派遣します。専門家は、1回～3回程度企業に訪問して具体的な改善指導を行い、課題解決を図ります。派遣する専門家は、地域力連携拠点に登録されたITコーディネーター、診断士、弁護士、新現役等です。応援コーディネーターが、事前に能力・人柄等の確認を行い企業に適した人材を紹介します。

### 地域力連携拠点事業の支援の流れ



<<岡山商工会議所 経営革新支援センター情報>>

「経営力向上・創業」の支援窓口

岡山商工会議所 経営支援センター

をご活用下さい。

経営支援  
センターとは、

経営力向上や事業承継に取り組む中小企業や創業予定者を支援するために国から委託を受けて設置された機関です。応援コーディネーター（経験豊富な商工会議所経営指導員）が、中小企業診断士をはじめとする専門家とともに専門的なアドバイスを**無料**で行います。

支援メニュー

※メニューの詳細については裏面をご覧ください。

経営力の向上

1. ITを活用した経営管理  
ITを活用した経営の合理化・効率化
2. 見えない資産の把握・活用（知的資産経営）  
無形の資産（知的資産）の文書化＝見える化
3. 経営革新  
新商品の開発や新サービスの提供  
新たな生産や販売の方式の導入など新分野への進出
4. 地域資源活用  
地域資源を活用した新商品開発

5. 農工商等連携  
農林漁業者との連携による新商品開発

創業・再チャレンジ

1. 創業支援  
創業計画書の作成、開業資金の調達
2. 再チャレンジ支援  
事業転換や廃業経験者の再起業

事業承継

1. 後継者育成など次世代へのスムーズな事業承継

支援内容

窓口相談

応援コーディネーター（経験豊富な当所経営指導員）と中小企業診断士等の専門家が窓口相談を行っています。

必要に応じて税理士、司法書士、ITコーディネータ、弁理士、弁護士、公認会計士などが個別相談に応じます。定例相談日は、火・木・金曜の9:00～17:00ですが、それ以外の日も気軽にご相談下さい。



専門家派遣

中小企業診断士、ITコーディネータ、税理士などの専門家が直接企業にお伺いして、企業が抱える課題解決の具体的な助言・指導を無料で行います。



情報提供

経営力向上、事業承継、創業に必要な知識、ノウハウ習得のための各種セミナー、相談会を開催します。国、県の支援策情報や経営革新・創業事例集など各種情報を提供します。



●ご相談・お問い合わせは

岡山商工会議所 経営支援センター  
(地域力連携拠点)

〒700-8556 岡山市厚生町3-1-15  
岡山商工会議所1階中小企業振興部内

TEL. (086) 232-2266

FAX. (086) 232-5269

ホームページ <http://www.okayama-cci.or.jp/kac/>





<会員著書紹介>

会員 國米泰弘 氏 太田文男 氏

ITストラテジスト完全合格対策<2009年版>

「ITストラテジスト完全合格対策<2009年版>」が同友館から5月に出版されました。支部会員の國米泰弘氏や太田文男氏が、執筆者として参加しています。



ITストラテジスト試験は、情報処理技術者試験の一区分として実施される経済産業大臣認定の国家試験で、今年(平成21年度)の秋期試験より新たに創設されました。対象者は、経営上の各種課題について情報技術を活用して解決するための基本戦略を立案する人材とされており、いわば経営学と情報技術をともに実践的なレベルにおいて習得した人材ということとなります。ITがますます経営と深く結びつ

くようになり、企業運営に携わる中核的な役割を果たす人材にとって、ITを深く理解し、活用することは、必須の条件の一つとなっています。本書はIT技術者だけでなく、企業あるいは公的機関等、戦略を必要とする組織において、広く取り組んでいただけるテーマを扱っています。本書や当試験を通して、情報の戦略的活用について取り組んでみられては、いかがでしょうか。(全国主要書店で販売中)

岡山県支部会報 第24号

平成21年7月15日 発行

社団法人中小企業診断協会 岡山県支部

〒700-0803 岡山市北区北方1-1-9  
Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554

発行人 支部長 額田 信一  
編集人 専務理事 山田 哲男

